



# 田島小だより

No. 1 1

## 「あっ！」という間に、11月！！



「2学期は、行事に一生懸命取り組んでいるとあっという間に終わってしまうよ。」と始業式の時、子供たちに話しました。過日の2学期の行事のメインイベントである学習発表会では、4月からの学習の成果を、体育館工事のため十分な練習等できませんでしたが、各学年思い思いに表現・発表していました。学習発表会だけではなく、小体連や各種コンクール作品の制作など、指導していた教員は時間が早く過ぎたと感じたのかもしれませんが、子供たちは・・・。

「時が過ぎるのが早いと感じる」で思い出すのが、時間を短く感じるのは年齢が関係しているとする説（1年を自分の年齢で割ったものが、その人が感じる1年）です。

数式に表すと

$$\text{その人の感じる1年} = \frac{1}{\text{その人の年齢}} \text{です。}$$

具体的には、

- ・ 1歳の赤ちゃんは  $\frac{1}{1}$  ですから、1年となり、これを基準にして
- ・ 10歳の子供は、1歳の子供の1年の  $\frac{1}{10}$  位に感じ、
- ・ 50歳の大人は、1歳の子供の1年のなんと  $\frac{1}{50}$  位に感じるようになります。

この説からすると、ひょっとして時が過ぎるのが早いと感じていたのは私だけで、子供たちはとても充実した時間を過ごしていたのかもしれませんが。

時間が早く過ぎてしまうと感じる要因として、「新しい経験を数多くすると1年が長く感じ、平穏な日々を過ごしていると1年が短く感じてしまう。」という話があります。特に変わったことがない日々が繰り返され、1年間が早く過ぎたとしても、平穏な日々が送っていたことに私は感謝していきたいと思えます。

上記数式の説は数学的に正確さは十分ではないようですので参考までに。

しかし、このようにちょっとしたことや日常生活の一面などを数式に表してみることで、算数・数学の楽しさの一つなのかもしれません。

数的な事に興味・関心をもっているお子さんに対し、この数の世界の楽しさに触れる機会を設けていくことも、「個に応じた教育」の一つなのかもしれませんね。



## 12月の行事予定



2 (月) 教育評価週間 ~4日	12 (水) 防災教室 (5年)
6 (金) 歌舞伎公演リハーサル	PTA役員会
8 (日) 歌舞伎公演	16 (月) 全校集会 (T)
9 (月) 繰替休業日	17 (火) 清掃強化週間 ~20日
10 (月) 年末年始交通事故防止	20 (金) 学期末清掃
県民総ぐるみ運動~1/7	23 (月) 第2学期終業式
11 (火) 地区子供会 (T) 児童会委員会	24 (火) 冬季休業日~1/7
	27 (金) 仕事納め

## PTAの研修会から ～PTAの存在意義について～

10月12日には、県のPTA研究大会が郡山市で開催されました。会の代表で、会長と校長が参加しました。簡単ですが研修内容の伝達を兼ね、今後のPTAの在り方について話題になったことをお知らせします。

記念講演会は、直木賞作家 玄侑宗久氏が「星とスマレを見つめて」と題し、星（将来）に向け、スマレ（現在）からどのように進んでいくことが良いのか、寄り道していくことの大切さを話されました。



第1分科会「未来の主役になる子供たち」では、三重県津市の安藤大作氏から、教育予算をもとにPTAの存在意義について話がありました。

### 「教育の実態（施策と予算）」

- ・国：学校教育：文部科学省 民間教育：経済通産省 統括：子ども家庭庁  
ガイドラインの作成（口は出すが、お金は多くの場合出さない。）
- ・県 市町村：ガイドラインをもとに、地域の実態を考慮し予算を編成し、教育施策を行う。つまり、事業の実施主体となる。

### →「PTAの役割」

- ・郡PTA：各市町村での施策等を比較し、自分の町村のよりよい教育施策について意見、要望を行う。
  - ・県PTA：他県との比較により、自分の県のよりよい教育施策について意見要望等を行う。
- ※ 隣県でありながら、教室のエアコンの設置率が、90%台の県と10%台の県があり、その差の是正をPTAという組織で申し入れるなど、具体例をもとに説明。  
→組織での要望と個人での要望では受けとめる側の重さが違う。

### PTAの存在意義について

予算編成をし事業を行う県市町村に対し、PTAのねらいである「子供たちの健全育成」をもとに要望・意見等を行うことができる組織であり、重要な組織である。とのことです。

また、過日実施した就学時健康診断の家庭教育学級において以下のような感想がありました。

- 自分以外にも同じ悩みなどを持っている方がいて、自分だけじゃないんだなと思いました。
- 他のご家庭の悩みや工夫を聞くことができ、自分たちの生活に生かせることがたくさんあり参考になりました。
- 皆さんの子供との触れ合う工夫を聞いてできることをやってみようと思いました。



入学すると悩み等を相談する機会の一つとして、同時期に子育てを行っている親同士や子育ての先輩である方がいらっしゃるPTAを活用することも効果的です。

しかし、そこには信頼関係や互いに思いやる関係が必要です。学年行事や各専門委員会の事業を通じ、親同士もよりよい関係を築いていくことがやはり重要で、このことはPTAのねらいである「子供の健全育成」につながっていくと考えます。

### 切り取り線

#### お知らせコーナー

※ 学校の教育活動等に、ご意見ご感想がありましたら、ご記入いただき、お知らせください。（校長）

( )年 保護者氏名(児童名)

( )